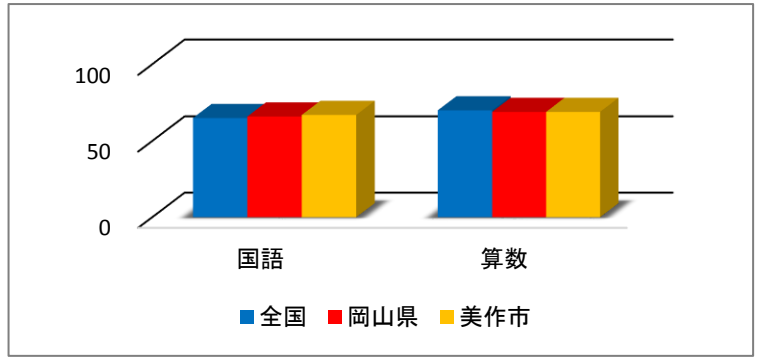


○平均正答率(小6) 割合(%)

	国語	算数
全国	65	70
岡山県	66	69
美作市	67	69

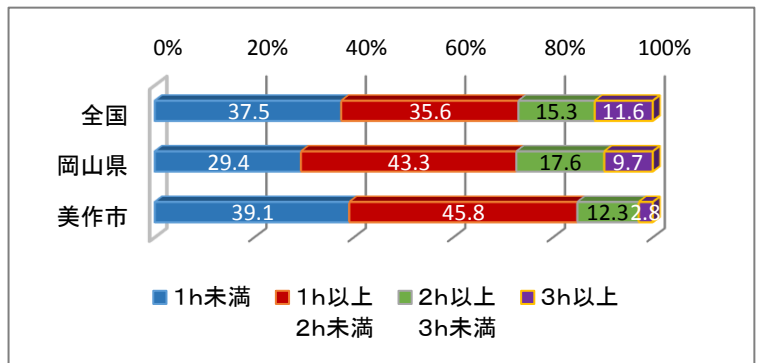
- ・国語は、全国、県平均を上回り、算数は全国平均を下回った。
- ・国語の漢字、文の中における主語と述語の関係を捉えることができるかをみる設問で、正答率が全国平均を上回り、基礎・基本を重視した指導の成果が表れている。
- ・活用力に課題が見られ、学んだことを関連づけて考えたり説明したりする機会を授業の中で設けていく必要がある。



○平日の家庭学習時間(小6) 割合(%)

	1h未満	1h以上 2h未満	2h以上 3h未満	3h以上
全国	37.5	35.6	15.3	11.6
岡山県	29.4	43.3	17.6	9.7
美作市	39.1	45.8	12.3	2.8

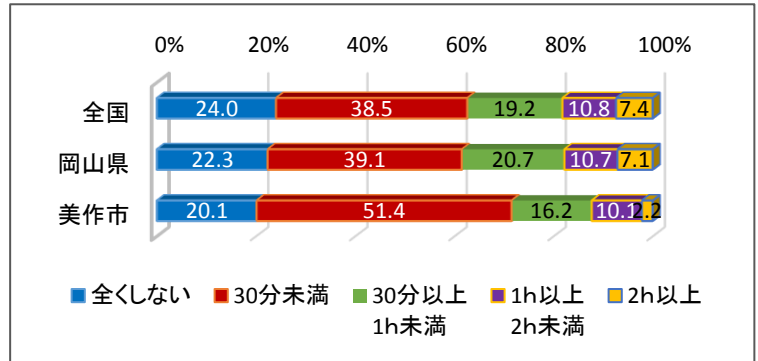
- ・家庭学習時間は昨年度(5年生時実施県調査結果)と比較すると、1時間未満の割合が11ポイント増加した。
- ・1時間未満の割合は全国、県と比べ高い数値である。学校全体での取組と家庭・地域と連携した具体的な取組が必要である。



○平日の読書の時間(小6) 割合(%)

	全くしない	30分未満	30分以上 1h未満	1h以上 2h未満	2h以上
全国	24.0	38.5	19.2	10.8	7.4
岡山県	22.3	39.1	20.7	10.7	7.1
美作市	20.1	51.4	16.2	10.1	2.2

- ・読書の時間については、「全くしない」という児童の割合は全国、県と比較すると少なく、30分未満の割合が多い。
- ・1時間以上の割合が全国、県の数値と比較すると少ない。
- ・家庭と連携した読書の取組の強化が必要である。



【全国学力・学習状況調査において明らかになった成果と課題】

- ・国語・算数における基礎的な問題の正答率の全国比が改善してきた。
- ・活用力を問う記述式問題について、無回答率が高い問題も見られた。問題を正確に素早く読み取ったり、根拠を示して自分の考えを書いたりすることが引き続き課題である。思考力や判断力、表現力を高めるため、言語活動を重視した授業づくりへの改善が続けていく必要がある。
- ・「国語の授業の内容はよくわかる」「算数の授業の内容はよくわかる」という質問では「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」という割合は全国平均を上回っている。
- ・家庭学習時間は1時間未満の割合が全国・県と比較すると多く、昨年度よりも減少傾向である。学校で家庭学習の計画を立てたり、家庭学習時間の記録を取ったりするとともに家庭と連携しながら、家庭学習習慣の定着のための取組が必要である。
- ・「将来の夢や目標をもっていますか」という質問では、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」という割合は全国平均を上回っている。

【課題に応じた改善のポイント】

○授業改善の推進

- ・主体的・対話的に学ぶ活動を工夫し、学びの深まりを実感させる授業づくり
 - 「岡山型学習指導のスタンダード」に基づいた授業5の視点に加え、「岡山型学習指導のスタンダード増補版 授業改善『一歩先へ』」に示されている児童生徒が主役となる授業づくりと全体を見通した単元計画を行う視点を重点として、授業改善を進める。
 - 書く活動を授業や補充学習、家庭学習で積極的に取り入れる。また、根拠を示しながら書いたり条件に合わせて説明したりする機会を授業に取り入れる。
- ・基礎基本の徹底の継続
 - 学習内容を復習する時間や補充学習の時間を確保するとともに、家庭学習で反復練習を行い児童のつまずきを解消する。
 - 学校独自のテストや市が実施する検定、県が実施するテストで学力の定着状況を確認し、つまずきを解消する。
 - 一人一台端末を活用した個別最適化された学びと協働的な学びの場を研究・実践する。
- ・ユニバーサルデザインを意識した目的と活動が明確な授業づくり
 - ・家庭学習につなげる授業づくり(復習、予習、自主学習の充実)と家庭学習の出し方(質と量)の工夫

○落ち着いた学習環境づくりと学ぶ意欲の向上

- ・人間関係づくりを大切に学級集団づくり、ユニバーサルデザインを意識した学習環境の整備

○補充学習の充実(朝の学習、放課後学習、問題データベース、タブレットドリル活用)

○生活習慣、学習習慣の確立

- ・家庭学習のスタンダード、家庭学習の手引きに基づいた取組の充実(例:自主学習ノートの活用、手本となるノートの紹介等、成長を実感させる評価の工夫)